

平成30年度AED（自動体外式除細動器）を使用した救急救命講習会を開催しました

11月16日（金）に本学の教職員を対象とした救急救命講習会が開催され、22名が参加しました。

この講習会は鳥取大学にAEDが設置された平成17年度から始まり、今回で14年目を迎え、受講者数は延べ302名となりました。現在学内には30台以上のAEDが設置されており、このAEDを使用することにより、救急車が到着するまでの応急処置を行い、尊い命を救うことができます。

この日は湖山消防署（鳥取県東部広域行政管理組合）から3名の消防士の方を講師にお招きし、心肺蘇生法及びAEDの使用方法が体得できるよう、参加者一人一人が実技をしっかりと学びました。また、応急手当や救命処置についての説明も受けました。

今後もより多くの教職員がAEDの使用方法や心肺蘇生法を習得することにより、緊急時への的確な備えをして頂くよう期待するものです。

